

あいさつ運動等を通して児童生徒の主体的な活動を推進する

ねがい

〈目的〉

確かな学力を身につけ、健康で元気のある主体的な児童生徒を育てるため、あいさつ運動、学習規律の確立、早寝・早起き・朝ごはん、ボランティア活動について、小学校・中学校が連携して取り組むことにしました。

〈内容〉

つながり

● あいさつ運動の推進

毎朝、児童会・生徒会を中心に各校校門の前で全校生にあいさつ運動を行っています。教師も加わり、児童生徒と共にあいさつをしています。

また、日常のあいさつだけでなく、授業の始めや終わり、指名されたときの返事等についても基本的な行動様式として、教師も意識して取り組んでいます。



【朝のあいさつ運動の様子】

● ボランティア活動の推進

児童会・生徒会が中心となり、図書室の本の整理、運動場や庭の除草等のボランティア活動を行っています。

小学校では、どんなボランティアができるか学級で話し合ってから、代表委員会を開き全校生で取り組むことにしました。毎月最終週をボランティア強調週間に設定し、「いつでもどこでもボランティア」を行っています。

中学校では、毎月第1土曜日を「学校ボランティアの日」としています。生徒会が、ボランティア活動への参加を呼びかけ、部活動開始前の40分間校内整備を中心に活動しています。



【ボランティア活動の様子】

● 早寝・早起き・朝ごはんの推進

保育所、幼稚園、小学校、中学校まで含めた保護者にPTAの協力も得て「子ども生活アンケート」を実施しています。集計した結果をもとに現状を伝え、考察を加えて報告することにより、意識をもって生活改善に取り組んでもらうようにしています。

〈成果〉

あいさつ運動の推進により、あいさつの声が大きくなり、自分から進んであいさつする児童生徒が増えてきました。ボランティア活動では、土曜日にもかかわらず積極的に参加する生徒が増えたり、毎朝、中庭の落ち葉を拾ったり、友達を誘って本の整理をしたりする姿も見られるようになってきています。図書室が整えられ、利用する児童生徒の数も増加してきています。今後、学習面でも児童生徒のさらなる成長を願って取り組みを工夫していきたいと考えています。

高まり